

あがの民商ニュース

2019年度阿賀野市予算及び市政の要望

新しい阿賀野市政をつくる会（民商も加盟）は17日に市長・各担当課の課長と予算及び市政への要望を行いました。（民商としては5項目を要望しました）



「国保ドックの助成を拡大すること」

市は「協会けんぽ」を持ち出し、国保ドックは妥当な金額と回答しましたが、協会けんぽと比較すること自体おかしいと訴えました。

「国保税に市の一般財政を繰り入れて子どもの均等を廃止すること」

県内で「子供の均等割額を廃止しているところはなく、阿賀野市だけが廃止することは難しい」と回答しました。阿賀野市が一番最初に子どもの均等割を廃止し、他市町村の見本になればよいのではないかと訴えました。

「住宅リフォーム助成の継続と助成額を30万円に増額すること・商店工場リニューアル助成事業を創設を」

市は財政確保が厳しい状況、助成の引き上げは難しい、商店工場リニューアル助成制度は困難と回答。市がやる気になればできるはず、頑張ってもらいたいと訴えてきました。

「空き家対策をさらに推進すること」

空き家の利活用を進めるため新たに全国版空き家バンクへの登録開始や、空き家リフォーム支援事業の利用を呼びかけている」と回答。もつと本腰を入れて周知徹底をし簡単に登録できるようにしてもらいたいと訴えました。

「県地方税徴収機構から撤退し、市税務課で相談納付できるようにすること」

2020年まで引き続き職員を派遣していく考えと述べ、市税務課でも相談納付ができる体制になっていることも回答でありました。徴収機構から脱退してもいいのではないかと訴えましたが、「2020年までは続けていく」との回答を崩しませんでした。

阿賀野民主商工会
阿賀野市南安野町一・三八
☎〇二五〇・六二七・一五八

NO 1682

商売くらしに役立つ！
全国
商工新聞
月/500円

民商年末年始について

民商会館は12月29日から1月6日までお休みとします。



共済会主催

大腸がん検診結果

12月はじめに回収した「大腸がん検診」の結果が届きました。

51名の受診で陽性反応（便血あり）の方は1名でした。民商では、陽性反応が出た方へ再検査を訴えて訪問をします。陽性反応が出た方で、共済会加入者は再検査をすると新商連共済会から補助（5,000円）があります。

年末調整について

- 年末調整「納期特例」の事業所
納付は1月21日（月）まで
- 法定調書・給与支払報告書・総括表は1月31日までに税務署、各市町村へ提出しましょう。
- 源泉徴収票は役員、従業員へ渡しましょう。

※ 税務署・市町村から届いた書類なくさないように！



年次有給休暇の時季指定義務

2019年4月から、全ての企業において、年10日以上、年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが必要となりました。

- 年次有給休暇を5日以上取得済みの労働者に対しては、使用者による時季指定は不要です。
- 使用者は労働者ごとに年次有給休暇管理簿を作成し、3年間保存しなければなりません。

